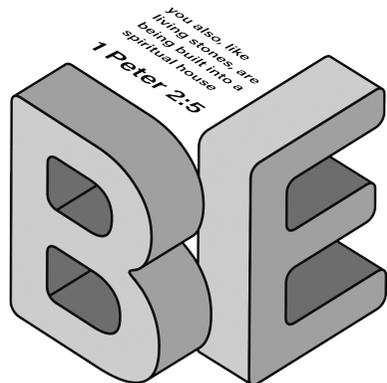


YOUTH MANNA



あなたがた自身も生ける石として霊の家に築き上げられ、神に喜ばれる霊のいけにえをイエス・キリストを通して献げる、聖なる祭司となります。
(ペテロの手紙第一 2章42節)

2025/7/7(月)

I 列王記 20:1-21

●戦いを持ちかけようとするアラムの王・ベン・ハダドだが(3、5-6)、アハブの元に来た預言者は何と語っただろう。(13) その戦いの結果はどうなったかな?(20-21)

●誰よりも主の目に悪であることを行った(列王記16:30)アハブにも、主は預言者を通して語られ、アハブはその通りに従った。それゆえ勝利が与えられた。

★皆にも、“預言者を通して語られた言葉”があるね。3月のJesus farm seminarで祈ってもらった預言の祈りを読み返して、その言葉に従う歩みができるように祈ろう!

2025/7/8(火)

I 列王記 20:22-43

●イスラエルは再びアラムと戦うことになる。この時イスラエルとアラムの軍勢の力の差はどのようだったかな?(27)

●その時イスラエルの王にあった神様のことは?(28)戦いの結果はどうなった?

●戦いには勝利したけれど、アハブはアラムの王を殺さずに去らせてしまった。それは神様の御心に反したことだったよ(42)。神様のことはを正しく聞いて、神様のこころを理解するにはどうすれば良いだろう?アハブに欠けていたものは何だっただろうか?考えてみよう。

2025/7/9(水)

I 列王記 21:1-16

●アハブはナボテが所有していたぶどう畑が欲しかった。ナボテが王の申し出を断ったのは、その土地が先祖からの譲りの土地で、律法で売り渡すことを禁じられていたからなんだ。断られたアハブはどんな反応をしたらだろうか?(4)

●ここでイゼベルが恐ろしい計画を実行に移す。彼女は何をしたのだろうか?

●イスラエルで、こんなひどいことが行われたのはなぜだろうか。神への恐れが無いところではどんなにひどいことが起こるか考えてみよう。君には神様への正しい恐れがあるだろうか?

2025/7/10(木)

I 列王記 21:17-29

●神様がエリヤをアハブのもとに向かわせたのはなんでかな?20節

●最初は神様に従っていたアハブが、イスラエルに罪を犯させたのはなんでかな?25節

●この箇所は、悪いことをしていたアハブが裁きを言い渡される箇所だね。アハブは神様を知っていたのに、イゼベルにそそのかされてイスラエルに罪を行わせてしまったよ。最後の悔い改めも、エリヤが神様のことを伝えたからしたようにみえちゃうよね。みんなは罪だとわかって、やってしまうことはないかな?もしもあったら神様にゆるしてもらって今日も出ていこう!

2025/7/11(金)

I 列王記 22:1-28

分裂王朝時代、北イスラエルの王がアハブが南ユダがヨシャパテ王を戦に誘った時の話。ヨシャパテは預言者に御心を聞くように提案したよ。

●王の周りにいた預言者たちはどんなタイプだったかな?その中でミカヤは違ってたね。彼はどんな人?13-14v

●アハブ王はミカヤのことをどう思っていたかな?8,18v

●僕らが成長し良い人間になるためには「いいね」ばかりじゃなく、聞きたくない助言も聞かなきゃいけない。本当にきみを応援してくれる人はそれをしてくれる人だ。そんな苦言をきみはどう聞いているかな?

2025/7/12(土)

I 列王記 22:29-53

イスラエルの王様アハブと、ユダの王様ヨシャファテの信仰や歩み方から学んでいこう!

アハブは、神様から離れて他のものを拜むような国づくりをしていた。戦いの時には、ヨシャファテを身代わりに自分だけ助かるように作戦をたてていたね。だけど、偶然とも思える形で一本の矢がアハブにあたり命を落としてしまう。人の計画を越えて、全てを治めているのはやっぱり神様なんだ。

ヨシャファテは、神様に従って自分の国から神様がダメだと言っているものをなくそうと働いた。一方で、国を豊かにさせたくて偶像礼拝をしているイスラエルの国とも関係を作って失敗したことも今日の箇所に分かるよ。

たくさんの考えや願いがある中で神様を1番にすることは本当に難しい。だからこそ、神様の導きを今日も受け取って、神様が喜ぶことは何か考えて一つ取り組んでみよう!

2025/7/13(日)

詩篇 77篇

私たちは苦しみの中で「神様はもう祈りを聞いてくださらない」「あわれみは絶えてしまった」と感じてしまうことがあります。しかし静まって、これまでの神様の導きと恵みを思い起こすときに、神様の道は変わらず、私たちを今も確かに導いて下さっていることに気づかされます。神様はたとえ私たちにその足跡が見えなくても、大水の中でさえ、ご自身の右の手で救い、守り、導いてくださる方です。

神様が恵みによって私たちの道を備え、導いてくださる方であることに信頼しよう。